

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
一般教養		エステティックマスター学科/1年	2026/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	60回	4単位(60時間)	必須	
授業の概要				
<p>日本の伝統文化である華道や茶道について、実習を交えながら学び、日本のおもてなしについて理解を深める。華道では、季節の草花を用いた作品作りと日本の伝統行事について学び、茶道では茶盆点点法を通して、日本人としての美しい所作やマナーについて学ぶ。美意識や日本文化への理解を深めることで、より顧客満足度のおもてなしを身に付ける。</p> <p>また、最上学年としての自覚を持ち、後輩育成を行う中で、社会を知る。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>日本の総合芸術を通じて、日本人が大切にしてきた美しい所作や立ち居振る舞い、美しい言葉づかいや感性を磨き、おもてなしの心を養う。そして、これからのグローバル社会の中で活躍できる、一流の美を身につけることを目指す。社会の中を知り、リーダーシップのある人材の育成を目指す。</p>				
回	テーマ	内容		
1～ 3	華道①	花材の扱いを学ぶ 季節の花を使用し、実習を行う(春)		
4～ 6	華道②	花材の扱いを学ぶ 伝統行事を学び、作品を制作(七夕)		
7～ 9	華道③	花材の扱いを学ぶ 伝統行事を学び、作品を制作(重陽)		
10～ 12	華道④	生花の基礎を学ぶ① 季節の花を使用し、実習を行う(秋)		
13～ 15	華道⑤	生花の基礎を学ぶ② 伝統行事を学び、作品を制作(正月)		
16～ 18	華道⑥	生花の基礎を学ぶ③ 花材に合わせた作品の作成		
19～ 21	茶道①	袱紗(帛紗)セット説明、畳でお軸拝見、ご挨拶の仕方		
22～ 24	茶道②	茶道の歴史、茶道具の説明、割稽古(コキブクサ、タタミブクサ)、		
25～ 27	茶道③	割稽古(コキブクサ、タタミブクサ)、 数グループに分けて亭主側、お客さま側でそれぞれお茶を点てる		
28～ 30	茶道④	茶室について、茶室でのマナー、点前稽古お菓子について 茶盆点の稽古		
31～ 33	茶道⑤	会席、点心について 数グループに分けて茶盆点の稽古		
34～ 36	茶道⑥	数グループに分けて茶盆点の稽古		
37～ 39	茶道⑦	遠州流宗家によるお茶会に参加		
40～ 42	HR①	HR、自己紹介		
43～ 45	HR②	健康診断、避難訓練		

回	テ ー マ	内 容		
46～ 48	HR③	テーブルマナー研修		
49～ 51	HR④	ハワイ研修発表会①		
52～ 54	HR⑤	ハワイ研修発表会②		
55～ 57	HR⑥	ハワイ研修発表会③		
58～ 60	HR⑦	1年の振り返り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
【華道】 ・花鋏 ・花袋 ・花材 ・花伝書作成（筆記用具、色鉛筆など） 【茶道】 ・袱紗 ・扇子 ・菓子切り ・懐紙 ・足袋（白い靴下） 【HR】 ・筆記用具		出席率 授業態度	10.0% 10.0%	出席率90%以下の場合、 成績評価の対象外となるの で注意すること。 遅刻・早退は10分まで。 遅刻・早退3回で欠席1回と する。
		実習・実技評価	80.0%	